

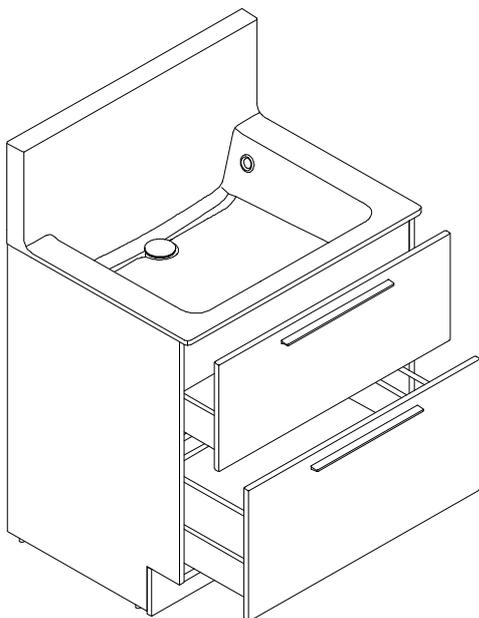


[メーカー管理用]

# 洗面化粧台

# クレヴィ・EV・R1シリーズ 奥行560タイプ

## 取付説明書



### お客さまへ

- 掲載されている取付説明は、専門知識を有する取付業者様向けの内容となっております。
  - 商品の取付時には危険が伴いますので、取付は専門知識を有する取付業者にご依頼ください。
- ※取付業者様以外による取付・修理・分解に起因する不具合は、商品保証の免責事項です。

### 取付業者さまへ

- 取付の際は、必ずこの説明書に沿って正しく取り付けてください。
- 説明書に記載されていない方法で取り付けられ、それが原因で故障を生じた場合は、商品保証の対象外となりますので十分ご注意ください。
- 同梱の取扱説明書は取付完了後、必ずお客さまにお渡しください。
- 水栓金具、電気温水器、即湯システムについては、それぞれに同梱の説明書に沿って正しく取り付けてください。
  - 保証書(取扱説明書裏表紙)に貴店名、取付日を忘れずにご記入ください。

■ はじめに	2
安全上のご注意	2
寸法図	3
付属品の確認	6
取付前の確認をする	10

はじめに

■ 取付け	13
取付けの流れ	13
化粧台を取り付ける	14
周辺キャビネットを取り付ける	20

取付け

■ 仕上げ	25
シーリングと取付後の確認をする	25
取付後の調節をする	26
引出しの取付け／取外し、チリ調節について	28

仕上げ

# 安全上のご注意

ここでは取付けに際して守らないと人身事故や、家財の損害に結びつく注意事項を挙げています。作業前にこの項目をよくお読みいただき、正しく取り付けてください。

## ■用語および記号の説明

 <b>警告</b>	取付けを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。
 <b>注意</b>	取付けを誤った場合、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。
	「してはいけません！」 (一般的な禁止記号です。)
	「分解してはいけません！」
	「指示通りにしなさい！」 (一般的な行動指示記号です。)

 <b>警告</b>	
	● 電気工事・水道工事は、関連する法令・規定にしたがって必ず「有資格者」が行う。 ※ 火災、感電、水漏れの原因になることがあります。
	● 修理技術者以外の人は絶対に分解や修理・改造を行わない。 ※ ケガや故障の恐れがあります。

 <b>注意</b>	
	● 浴室内などの高温多湿な場所や水に浸る可能性がある床面には設置しない。 ※ 木部の膨れや変形、漏電・感電の恐れがあります。
	● 湯水を逆に配管しない。
	● 電源プラグを抜くときはコード部分を持って引っ張らない。必ず先端のプラグ部分を持って引き抜く。 ※ 感電やショート・発火による火災の恐れがあります。
	● スライド蝶番の調節後は必ずAねじ、Cねじ、取付ねじが固く締め付けられていることを確認する。 ※ 緩んでいると、蝶番が外れて扉が落下し、ケガをする恐れがあります。

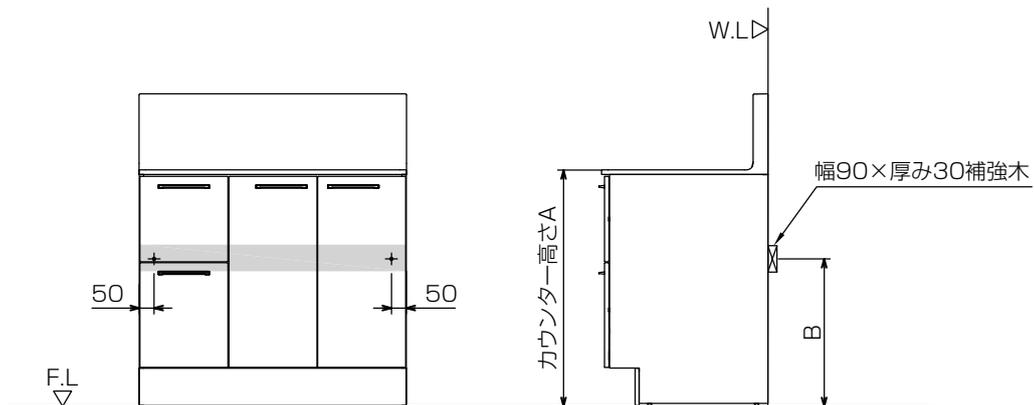
<b>お願い</b>	
●	直射日光やスポット照明、殺菌灯が直接当たる場所に設置しない。 ※ 変色や変形の原因になります。
●	不陸が5mm/ 2mを超える場合は必ず壁を施工しなす。 ※ 不陸があるまま取り付けると、キャビネットがひずむ恐れがあります。
●	洗面器やカウンター表面は傷つきやすいので注意して作業する。 ・ 上に乗らない。 ・ キャビネットや工具などの固い物を上に落としたり、載せてひきずったりしない。 ※ キズが付くと補修しても完全に元の状態には戻りません。
●	洗面化粧台の木製部分に、養生テープなどの粘着物を付着させない。 ※ 表面材のはがれを引き起こす原因になります。
●	酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコールなどの溶剤や油類を使用して本体を拭かない。 ※ 変色や変形の恐れがあります。
●	壁面工事や建築仕上げ工事に使われる溶剤・接着剤・洗剤・テープ類・その他の薬品類は、容器などに記載の注意事項に従う。 ※ 人体への悪影響や使用部材の劣化、破損の原因になります。
●	給水・給湯管および排水管が所定の位置に取り出していない場合は、必ず取り出し直す。 ※ 取出し位置がずれたまま接続すると、漏水の原因になります。

# 寸法図

詳細の寸法・固定位置は承認図をご確認ください。

## 化粧台キャビネット

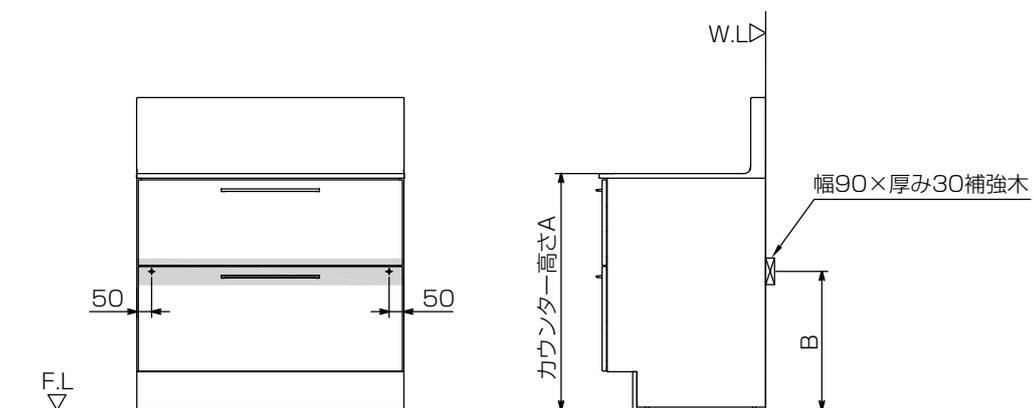
### ■引出タイプ



<単位: mm>

	A	B
標準タイプ	800	500
品番に-Uを含む場合	850	550

### ■フルスライドタイプ・スマートトレイ付フルスライドタイプ

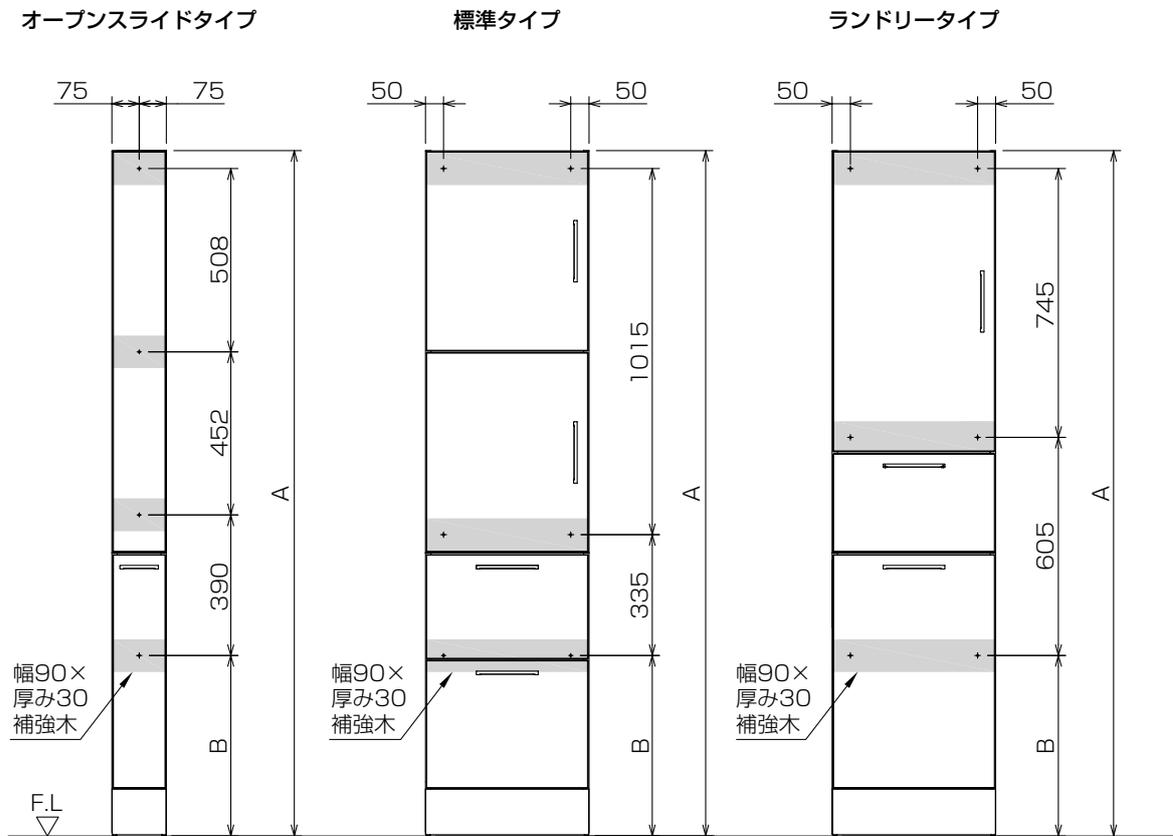


<単位: mm>

	A	B
標準タイプ	800	470
品番に-Uを含む場合	850	520

# 周辺キャビネット

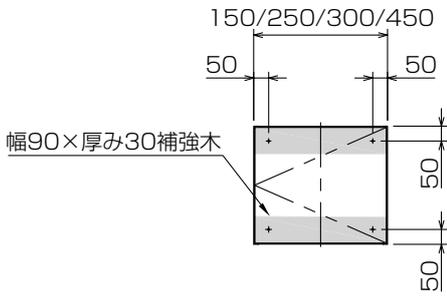
## ■ トールキャビネット



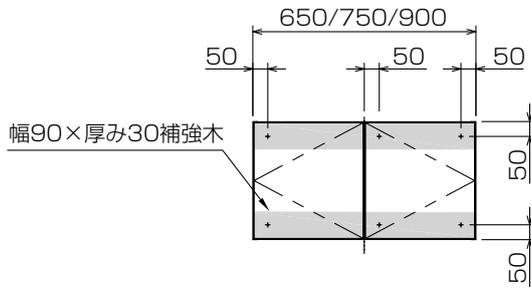
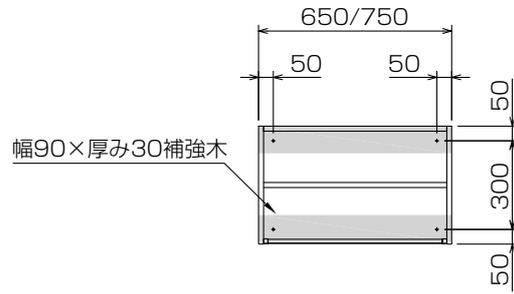
<単位：mm>

	A	B
標準タイプ	1900	500
品番に-Uを含む場合	1950	550

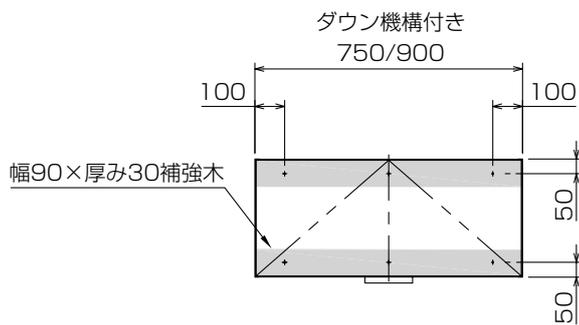
■ アッパーキャビネット



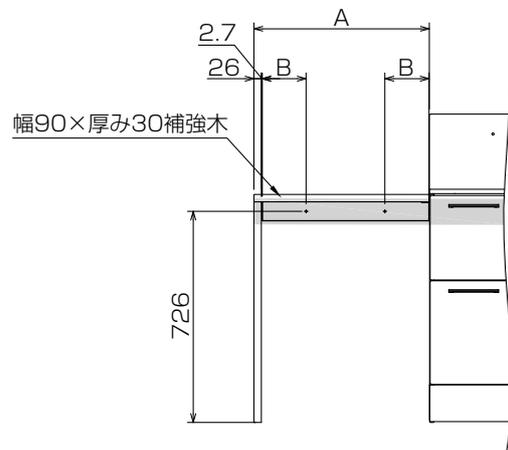
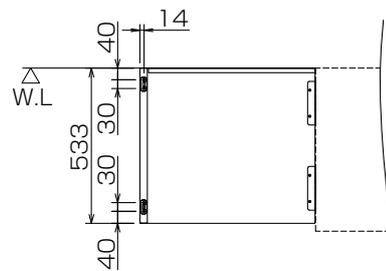
■ ランドリーキャビネット



※中央の固定は間口900のみ



■ ランドリーカウンター



(mm)

A	450	900
B	75	150

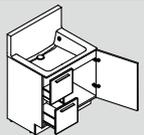
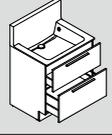
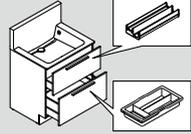
※上記寸法はカット前の製品寸法

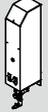
# 付属品の確認

付属品の内容と数量が合っていることを確認してください。

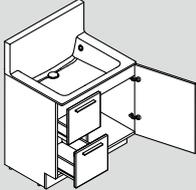
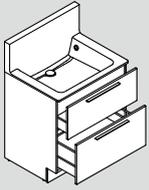
## 化粧台キャビネット

### ■ クレヴィ (RA\*\*\*)

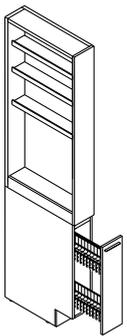
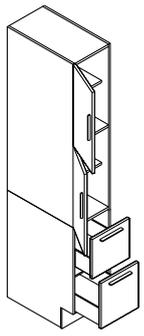
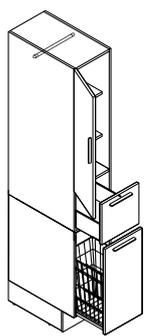
		即湯タッチレス水栓(ナビッシュ)	タッチレス水栓(ナビッシュ)	即湯プッシュ水栓	プッシュ水栓
品番	引出タイプ 	RAH-755JFY(N)-A(M)* RAH-905JFY(N)-A(M)*	RAH-755JY(N)-A(M)* RAH-905JY(N)-A(M)*	RAH-755PFY(N)-A(M)* RAH-905PFY(N)-A(M)*	RAH-755PY(N)-A(M)* RAH-905PY(N)-A(M)*
	フルスライドタイプ 	RAFH-755JFY(N)-A(M)* RAFH-905JFY(N)-A(M)*	RAFH-755JY(N)-A(M)* RAFH-905JY(N)-A(M)*	RAFH-755PFY(N)-A(M)* RAFH-905PFY(N)-A(M)*	RAFH-755PY(N)-A(M)* RAFH-905PY(N)-A(M)*
	スマートトレイ付フルスライドタイプ 	RASH-755JFY(N)-A(M)* RASH-905JFY(N)-A(M)*	RASH-755JY(N)-A(M)* RASH-905JY(N)-A(M)*	RASH-755PFY(N)-A(M)* RASH-905PFY(N)-A(M)*	RASH-755PY(N)-A(M)* RASH-905PY(N)-A(M)*
水栓金具		1セット			
ヘアキャッチャー 		1個			
マルチボトルトラップ	マルチボトルトラップ本体 	1個			
	フレキホース 	1本			
	排水アダプター 	1個			
	排水パッキン 	1個			
マルチトラップ(直管)	トラップ 	1個			
	排水アダプター 	1個			
	排水プレート 	1枚			
高さレベル調整用スペーサーセット		1セット (1mm、2mm、3mm用：各4個)			
固定用ねじ(トラスφ4.0×50mm) 		2本			
スマートトレイ(ヘアアイロン用) 		スマートトレイ付フルスライドタイプの場合、各1個			
スマートトレイ(小物用) 					

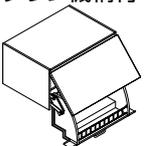
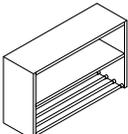
水栓パネル		1個	-		
水栓パネル(プッシュ水栓用)		-	1個		
即湯器		1個	-	1個	-
即湯器配管セット		1セット	-	1セット	-
取付説明書・取扱説明書・お手入れガイド		各1部			

■ EV (EA\*\*\*)、R1 (R1\*\*\*)

		EV:タッチレス水栓(ナビッシュ)	EV:シングルレバーシャワー水栓	R1:タッチレス水栓(ナビッシュ)	R1:プッシュ水栓
品番	引出タイプ	 EAH-755JY(N)-A(M)* EAH-905JY(N)-A(M)*	EAH-755SY(N)-A(M)* EAH-905SY(N)-A(M)*	R1H1-755JY(N)-AU* R1H1-905JY(N)-AU*	R1H1-755PY(N)-AU* R1H1-905PY(N)-AU*
	フルスライドタイプ	 EAFH-755JY(N)-A(M)* EAFH-905JY(N)-A(M)*	EAFH-755SY(N)-A(M)* EAFH-905SY(N)-A(M)*	-	-
水栓金具		1セット			
ヘアキャッチャー			1個		
マルチボトルトラップ	マルチボトルトラップ本体		1個		
	フレキホース		1本		
	排水アダプター		1個		
	排水パッキン		1個		
マルチトラップ(直管)	トラップ		1個	-	
	排水アダプター		1個	-	
	排水プレート		1枚	-	
高さレベル調整用スペーサーセット		1セット (1mm、2mm、3mm用:各4個)			
固定用ねじ(トラスφ4.0×50mm)			2本		
水栓パネル			1個	-	
水栓パネル(プッシュ水栓用)			-	1個	
取付説明書・取扱説明書・お手入れガイド		各1部			

## 周辺キャビネット

製品名称	トールキャビネット		
	オープンスライドタイプ	標準タイプ	ランドリータイプ
イメージ			
製品間口(mm)	150	250・300・450	450
固定用ねじ (平頭φ4.5×60mm)	—	6本	
固定用ねじ (平頭φ5.3×60mm、化粧キャップ)	3本	—	
固定用ねじ (トラスφ4×50mm)	1本	—	
キャビネット連結用ねじ (トラスφ4×25mm)	2本		
取っ手	1個	4個	3個
取っ手取付けねじ (低頭φ4×25mm)	2本	8本	6本
棚板	2枚		
棚ダボ	4個	8個	
L字棚受け	2セット (左右)	—	
トレイ	1個	—	
網カゴ	—	1個	

製品名称	アップーキャビネット			ランドリーキャビネット	
	1枚扉	2枚扉	ダウン機構付		
イメージ					
製品間口(mm)	150・250・300・450	650・750	900	750・900	650・750
固定用ねじ (平頭φ4.5×60mm)	4本		6本	6本	4本
化粧キャップ	-			4個	
キャビネット連結用ねじ (トラスφ4×25mm)	2本	-			

製品名称	ランドリーカウンター
イメージ	
製品開口(mm)	450・900
カウンター	1枚
サイドパネル	1枚
下棧木	1本
カム	2個
シャフト	2本
化粧キャップ	2個
カウンター固定金具	2個
壁固定用ねじ (平頭φ5.3×60mm、化粧キャップ)	2本
床固定金具	2個
床固定用ねじ (皿φ4×30mm)	4本
カウンター固定用ねじ (皿φ3.5×14mm)	10本
スポンジテープ	1個

# 取付前の確認をする (マルチボルトラップの場合)

即湯システムについては、即湯システムに付属の取付説明書をご覧ください。

## 給水、給湯の確認

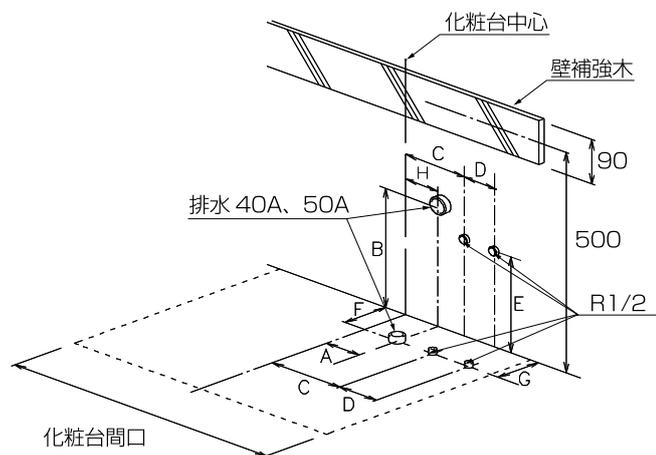
給水・給湯の条件、水栓金具の設置条件は、水栓金具に付属の施工説明書をご覧ください。

## 配管工事の確認

### ⚠ 注意

湯水を逆に配管しない。

給水、給湯管および排水管が所定の位置に指定の給排水管仕様で取り出しているか確認してください。

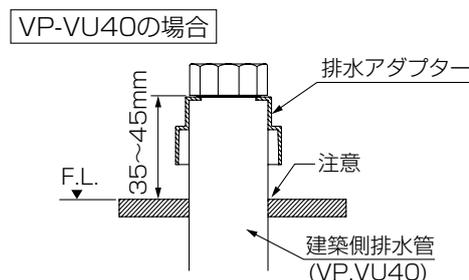
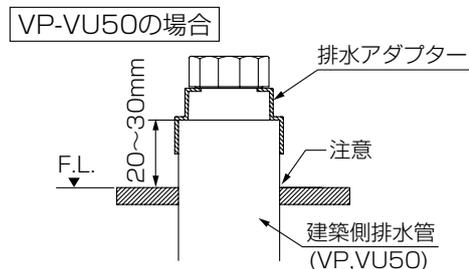


間口(mm)	標準タイプ・即湯器取付時		電気温水器取付時	
	クレヴィの場合	EVの場合	750	900
A	75	75	化粧台中心から左に50	
B	800※	290	290	
	850※	340	-(高さ対応なし)	
C	180	190	180	190
D	80	100	80	100
E	800※	380	380	
	850※	430	-(高さ対応なし)	
F	90	90	90	90
G	80	80	80	80
H	75	75	-(壁排水対応不可)	

※カウンター高さを表します。

## ■ 床排水の場合

床排水は下図のとおり取り出してください。



### ⚠ 注意

建築側排水(VP・VU管)は必ず指定の取出寸法範囲内で取り出す。  
※ 取出寸法が短いと、排水トラップと接続できず、漏水を引き起こす恐れがあります。

- 壁排水の場合は市販の排水アダプターをご使用ください。
- 建築側排水管と開口部に隙間がある場合は、シリコン系シーリング材でシーリングしてください。

# 取付前の確認をする (マルチトラップ (直管) の場合)

即湯システムについては、即湯システムに付属の取付説明書をご覧ください。

## 給水、給湯の確認

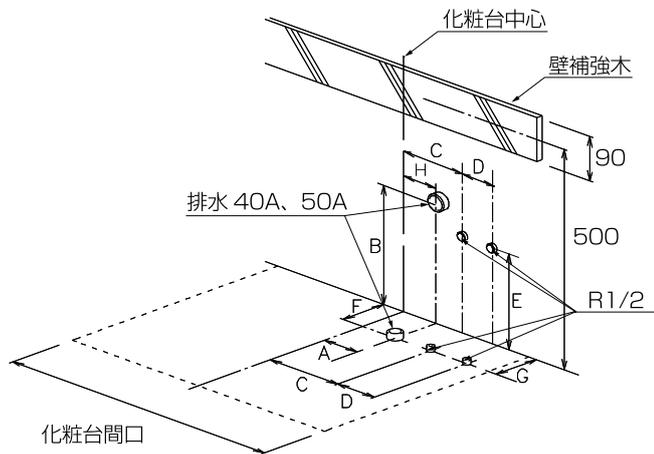
給水・給湯の条件、水栓金具の設置条件は、水栓金具に付属の施工説明書をご覧ください。

## 配管工事の確認

### ⚠ 注意

湯水を逆に配管しない。

給水、給湯管および排水管が所定の位置に指定の給排水管仕様で取り出しているか確認してください。

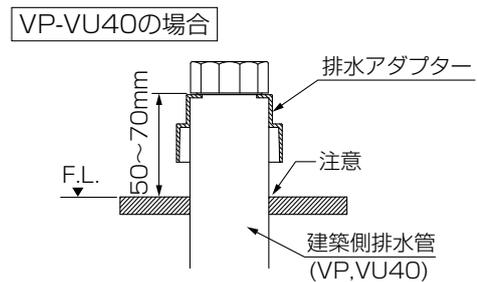
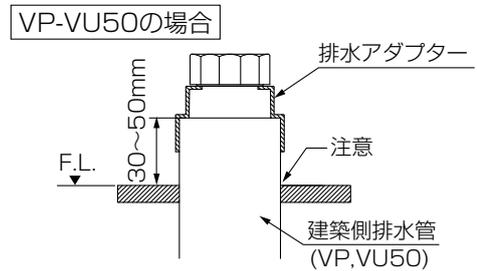


間口(mm)	標準タイプ・即湯器取付時				電気温水器取付時
	クレヴィの場合		EVの場合		
A	100				化粧台中心から左へ50
B	800※	410			-(壁排水対応不可)
	850※	460	-(高さ対応なし)		
C	180	190	180	190	110
D	80	100	80	100	-(給湯配管不要)
E	800※	380			240
	850※	430	-(高さ対応なし)		290
F	75				75
G	80				80
H	化粧台中心から左へ50				-(壁排水対応不可)

※カウンター高さを表します。

## ■床排水の場合

床排水は下図のとおり取り出してください。



### ⚠ 注意

建築側排水 (VP・VU管) は必ず指定の取出寸法範囲内で取り出す。  
※ 取出寸法が短いと、排水トラップと接続できず、漏水を引き起こす恐れがあります。

- 壁排水の場合は市販の排水アダプターをご使用ください。
- 建築側排水管と開口部に隙間がある場合は、シリコン系シーリング材でシーリングしてください。

# 壁面の確認

## 警告

下記事項が守られていることを事前に確認し、取付けを行う。

守られていないと取付強度が保てず、キャビネットが落下してケガをする恐れがあります。誤った配線工事は、火災・感電、故障の原因になります。

● 下記「キャビネットを取付可能な壁面」の条件を満たさない壁には取り付けない。

※ 記載の条件を満たさない場合は、壁を施工し直してください。壁の不陸が5mm/2mを超える場合は、必ず壁を施工し直してください。

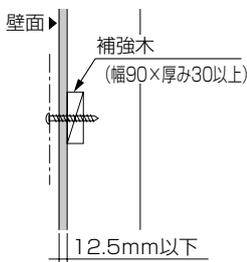
● 壁固定は指定のねじを、指定本数使用する。

## ■ キャビネットを取付可能な壁面

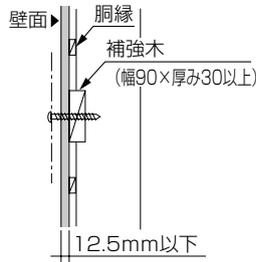
### [乾式壁の場合]

- 「ねじ固定位置」には必ず補強木（幅 90mm×厚み 30mm 以上）を設ける。
- 補強木は必ず柱・間柱・縦桟木など建築躯体に固定する。補強木の固定は、キャビネットの固定強度と同等以上になるよう、種類・数を選定してください。
- 壁固定ねじを補強木に届かせるため、壁仕上げの総厚さは 12.5mm 以下にする。

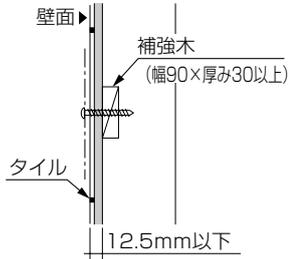
#### ボード類直張り



#### ボード類胴縁取付け



#### タイル仕上げ



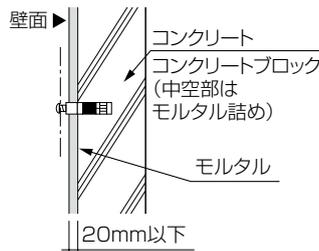
### お願い

壁面に補強木が取り付けられない場合  
取付壁全面に厚み 12mm 以上の JAS 規格品の合板を強固に取り付けてください。  
[建築工事]

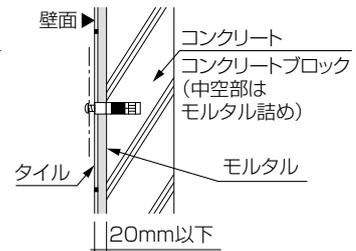
### [湿式壁の場合]

- コンクリートブロック壁の場合、中空部はモルタル詰めする。
- 壁固定ねじに合った AY ボルトを使用する。  
AY ボルトを壁本体に届かせるため、壁仕上げの総厚さは 20mm 以下にしてください。参考：下記(別途手配)表

#### モルタル仕上げ



#### タイル仕上げ



### [湿式壁の場合の取付方法]

- AY ボルトの位置を確認し、壁に位置出しをする。
- 固定位置にφ7.5mm の下穴をあけ、切粉をきれいに取り除く。下穴は電動ドリルを使用し正確にあけてください。
- AY ボルトを挿入してゴム筒を押さえてボルトを抜き取る。
- キャビネットを壁面に当て、ねじ穴からボルトで固定する。

### (別途手配)

壁固定ねじの種類	AYボルト・プラグセット品番	セット内容
タッピンねじトラス	#KB-4X60T(AY)	M4X60mmトラス2本入り
タッピンねじなべワッシャー付	#KB-4X60WT(AY)	M4X60mm なべ 2 本入り、ワッシャー 2 個入り
タッピンねじ皿化粧キャップ付 または 洗面化粧台固定用ねじ	#KB-4X60SC(AY)	化粧キャップ(白)、皿ワッシャー、M4X60mm 皿各 2 個入り
製品同梱ねじ使用	#MIL-T8	樹脂性プラグ 2 個入り
タッピンねじトラス	AY-24(1P)	M6X65mmトラス 1 本

※ AYボルト・プラグの種類、必要数はキャビネットにより異なります。

※ 化粧キャップ(白)は、各キャビネットに付属のものを使用してください。(あるいは、#KC-6を別途手配)(取付穴 7.5mm、深さ 60mm 以上)

● AYボルト取付穴：φ7.5mm 深さ 60mm 以上

● プラグ取付穴：φ6 mm 以上深さ 50mm 以上

# 床面の確認

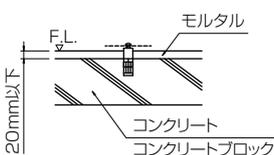
● 設置する床は水平で著しい凹凸や不陸がないことを確認してください。

● 床面は強固で、ガタつき・たわみが生じないことを確認してください。

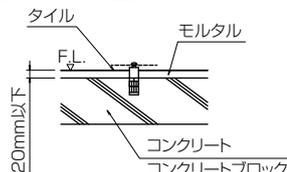
※ キャビネットがガタついたり、取付精度(納まり)が悪くなる恐れがあります。

### 〈サイドパネルを湿式床に取り付ける場合〉

#### ●モルタル仕上げ



#### ●タイル仕上げ



### 〈湿式の場合の取付方法〉

- AYボルトの位置を確認し、位置出しをします。
- 壁にφ7.5mmの下穴をあけ、切粉をよく取り除きます。  
※ 下穴は電動ドリルを使用し正確にあけてください。
- AYボルトを挿入してゴム筒を押さえてボルトを抜き取ります。
- キャビネットを壁面に当て、ねじ穴からボルトで固定をします。

### (別途手配)

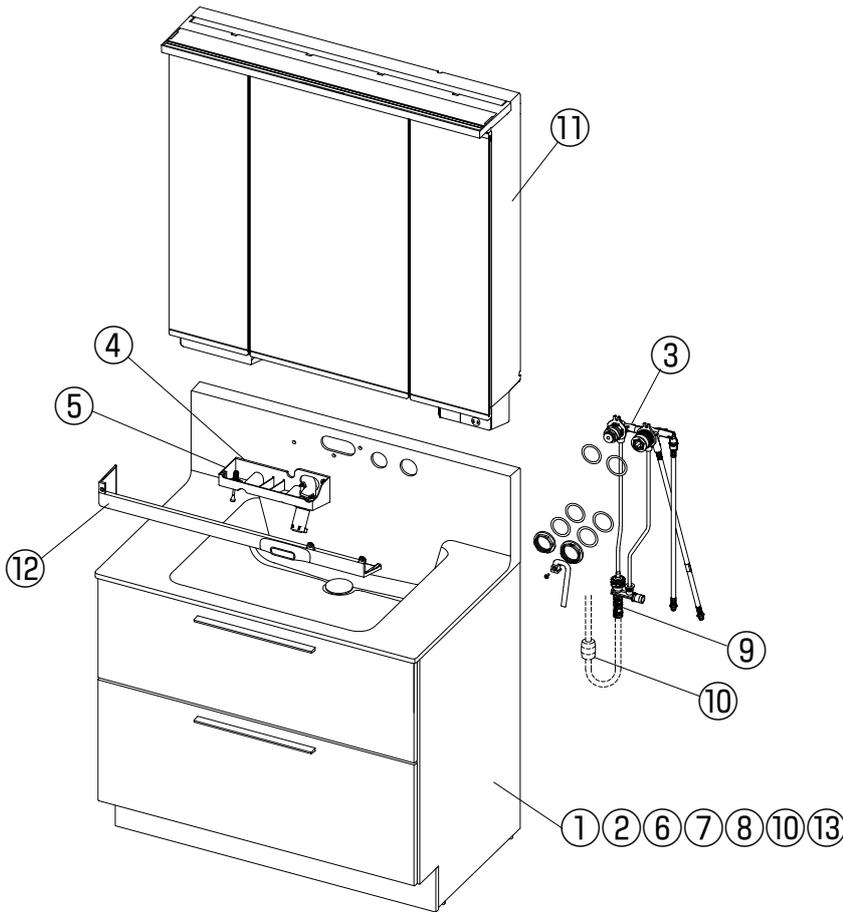
AYボルト：#KB-4X60SC(AY)

※ 皿φ4×60mm 2本、皿ワッシャー 2個、化粧キャップ(白) 2個入り

## 取付けの流れ

必ずこの手順を守って、それぞれの取付説明書をご確認ください。

### 化粧台 >14 ページ



**化粧台取説**：洗面化粧台取付説明書

**水栓施説**：水栓金具施工説明書

**ミラー取説**：ミラーキャビネット取付説明書

キャビネットを壁に固定する際、扉・引出しが邪魔になるときは外して作業できます。  
扉・引出しの取外方法は27ページ以降をご確認ください。

- ① ベースキャビネットの下準備 >14 ページ  
**化粧台取説**
  - ② オプション品の下準備 >14 ページ  
※体重計収納の下準備はここでを行います。  
(体重計収納の取付説明書参照)  
※電気温水器・即湯システムの下準備はここで  
を行います。  
(電気温水器・即湯システムの施工説明書参照)  
※排水リフォームキットの下準備はここで  
行います。  
(排水リフォームキットの取付説明書参照)  
**化粧台取説**
  - ③ 水栓本体の取付け >14 ページ  
**水栓施説**
  - ④ 水栓ベースプレートの取付け >15 ページ  
**水栓施説**
  - ⑤ 排水リリースの接続 >15 ページ  
**化粧台取説**
  - ⑥ 化粧台の固定 >15 ページ  
**化粧台取説**
  - ⑦ 止水栓の取付け >16 ページ  
**化粧台取説**
  - ⑧ 排水トラップの取付け >17,18 ページ  
**水栓施説**
  - ⑨ シャワーホースの接続 >19 ページ  
※水栓の種類によって手順が異なります。  
**水栓施説**
  - ⑩ ストッパーの固定 >19 ページ  
**水栓施説**
  - ⑪ ミラーキャビネットの取付け >19 ページ  
**ミラー取説**
  - ⑫ 水栓パネルの取付け >19 ページ  
**ミラー取説**
  - ⑬ スマートトレイ (ヘアアイロン用・  
小物用) の取付け >20 ページ  
※スマートトレイ付フルスライドタイプのみ  
**化粧台取説**
- 取付け後の確認**  
※各部材の説明書をご確認ください。

# 化粧台を取り付ける

## ① ベースキャビネットの下準備

- 給水・給湯管および排水管の位置を確認してください。  
(P.10、11「配管工事の確認」の一覧表を確認してください。  
また、給水・給湯管および排水管が大きく(±20mm以上)ずれている場合は配管工事をやり直してください。
- 給水・給湯、排水の位置に合わせて化粧台に給水、給湯穴(φ30～45mm)、排水穴(φ47～50mm)をあけてください。

## ② オプション品の下準備

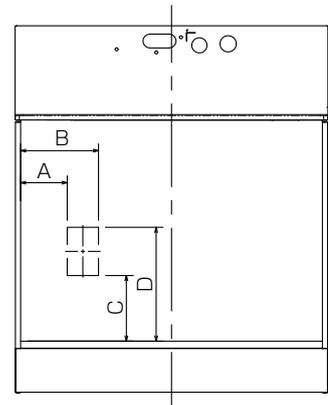
### 【即湯器を設置する場合】

必ず洗面化粧台を壁固定する前にキャビネットに加工してください。  
加工する前に下記の表で即湯器設置場所を確認し、下図の通り加工してください。

化粧台間口	W750		W900	
	引出タイプ	フルスライドタイプ・ スマートトレイ付 フルスライドタイプ	引出タイプ	フルスライドタイプ・ スマートトレイ付 フルスライドタイプ
設置位置				
右手前設置	○		○	
左奥設置		○		○

(mm)

間口	化粧台タイプ	コンセント位置			
		A(寸法)	B(寸法)	C(寸法)	D(寸法)
W750	引出タイプ	119	209	259	399
	フルスライドタイプ	169	259	229	369
	スマートトレイ付フルスライドタイプ				
W900	引出タイプ	159	249	259	399
	フルスライドタイプ	244	334	229	369
	スマートトレイ付フルスライドタイプ				



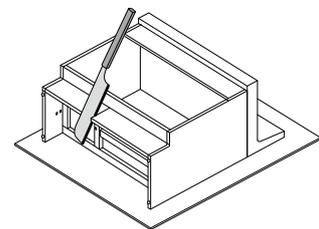
### 【水栓金具がタッチレス水栓の場合】

必ず洗面化粧台を壁固定する前にキャビネットに加工してください。  
キャビネット開口寸法について、【即湯器を設置する場合】に記載の寸法通り加工してください。

### 【体重計収納を設置する場合】

必ず洗面化粧台を壁固定する前に取り付けてください。  
詳細については体重計収納に同梱の取付説明書をご覧ください。

体重計収納を設置する場合は、ベースキャビネットの下準備が必要です。



### 【排水リフォームキットを使用する場合】

必ず洗面化粧台を壁固定する前に取り付けてください。  
詳細については排水リフォームキットに同梱の取付説明書をご覧ください。

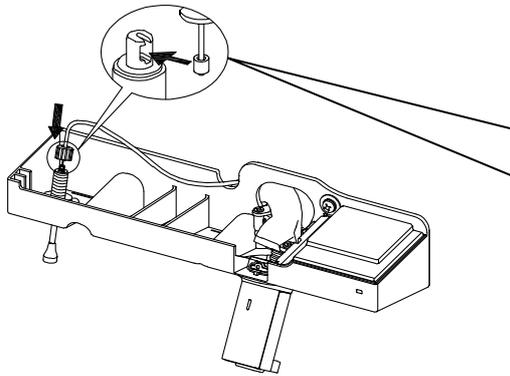
## ③ 水栓本体の取付け

詳細は水栓金具付属の施工説明書をご覧ください。

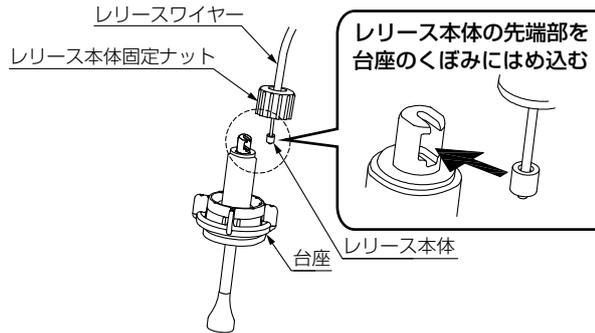
## ④ 水栓ベースプレートの取付け

詳細は水栓金具付属の施工説明書をご覧ください。

## ⑤ 排水リリースの接続



リリース本体を台座にはめ込み、  
リリース本体固定ナットを締め込む。



### ⚠ 注意

- ナット類は手でしっかりと締め付ける。  
※締め付けが不十分だと漏水を引き起こす恐れがあります。



工具を使わない!

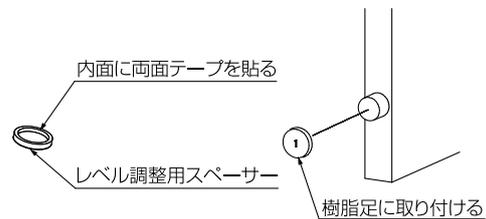
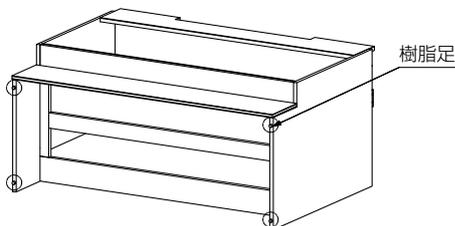
## ⑥ 化粧台の固定

化粧台を指定の位置に仮設置します。床の水平が出ていない場合、付属の高さレベル調整用スペーサーで水平になるよう調整してください。調整方法は下記手順とおり行ってください。

①高さレベル調整用スペーサーは3種類の高さがあります。裏面の数字を確認し、水平になるように3種類の高さレベル調整用スペーサーで調整する。

①: 1mm、②: 2mm、③: 3mm

②高さレベル調整用スペーサーと樹脂足を両面テープで取り付ける。

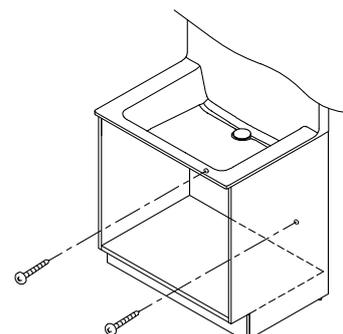


### ⚠ 注意

高さレベル調整用スペーサーを取り付ける際は向きを確認し、数字が記載されている面を床面にして設置する。



数字記載面が床面  
設置となります。



③水平が出ていることを確認した後、固定用ねじで洗面化粧台を壁に固定する。

## ⑦ 止水栓の接続

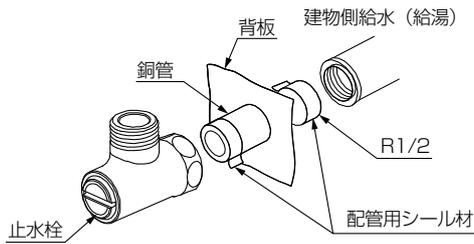
止水栓はメンテナンス・流量調節に必要なため、必ず取り付ける。

※止水栓は別途手配です。

※止水栓は銅管が付いた状態で出荷されます。必ず一旦外してシールしてください。

### 【壁給水の場合】

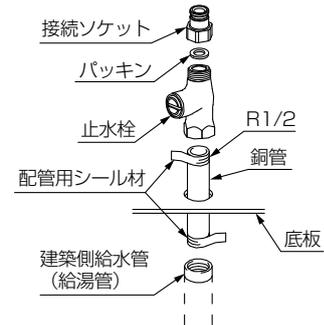
※止水栓手配品番  
(一般地、寒冷地共通)  
LF-3FK-MB



### 【床給水の場合】

止水栓長さは承認図をご確認ください。

※キャビネット高さ・水栓金具の種類によって配管長さが異なります。





## ⑧ 排水トラップの取付け (マルチボルトトラップの場合)



工具を使わない!

### 注意

- パッキンの向きに注意する。
- 管は奥に当たるまで差し込む。
- 接着に耐熱塩ビ管 (HT管) 用接着剤を使用しない。  
※ 漏水し、家財などを濡らす拡大損害発生恐れがあります。



パッキンの  
先細り方向を接続側に

### 取付け

【手順①】排水器具に、マルチボルトトラップ本体を奥までしっかり差し込む

【手順②】建築側排水管に排水アダプターを接着固定し、フレキシホースのソケットを十分に差し込む

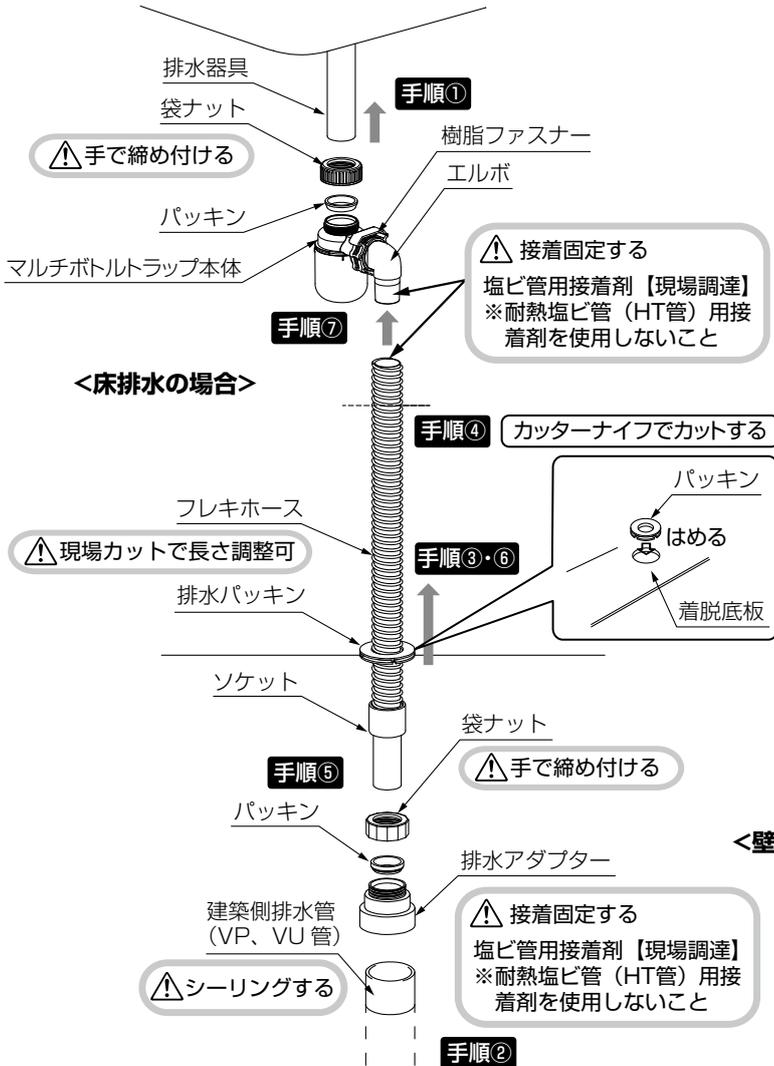
【手順③】①ベースキャビネットの下準備で開けた排水穴に下からホースを通す

【手順④】適切なフレキシホース長さを確認し、底板・排水アダプターからフレキシホースを抜いてカットする

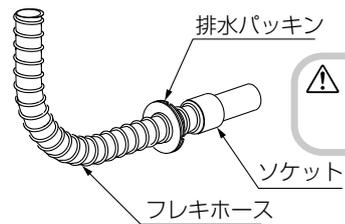
【手順⑤】接着固定した排水アダプターにフレキシホースのソケットを十分に差し込む

【手順⑥】①ベースキャビネットの下準備で開けた排水穴に排水パッキンをはめて、下からフレキシホースを通す

【手順⑦】マルチボルトトラップ本体のエルボ外面、ホース内面に接着剤を塗布してホースを十分に挿入する



### <壁排水の場合>



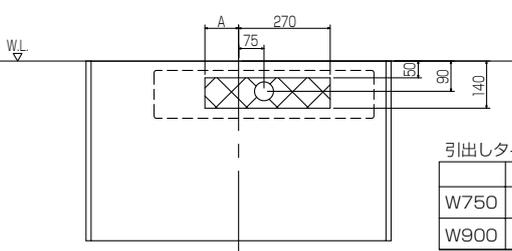
フレキシホースが  
逆勾配にならないこと

現場カットで長さ調整可

### <フレキシホースの接続可能範囲>

フレキシホースの建築側排水管への接続可能範囲は下図の範囲となります。フレキシホースは建築側排水管の真上から接続してください。範囲外になる場合は、排水リフォームキット (別途手配) をご使用ください。

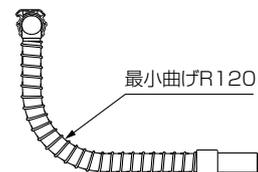
☒ フレキシホース接続可能範囲 ○ 標準排水位置



引出しタイプ		フルスライドタイプ	
	A		A
W750	24	W750	210
W900	99	W900	210

### 注意

フレキシホースの取り回しの際は最小曲げ R120 以下にならないこと。取付説明書裏表紙の図を参照し、確認してください。  
※ホースの折れ、つぶれ等が発生する恐れがあります。



## ⑧ 排水トラップの取付け (マルチトラップ (直管) の場合)



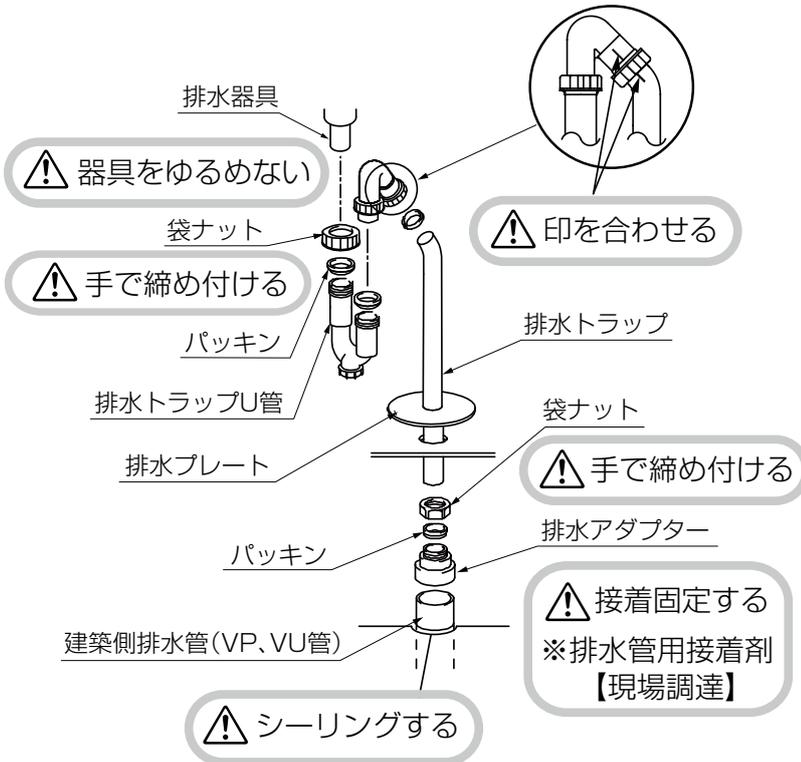
工具を使わない!

### ⚠ 注意

- パッキンの向きに注意する。
- 管は奥に当たるまで差し込む。
- 接着に耐熱塩ビ用接着剤を使用しない。  
※漏水し、家財などを濡らす拡大損害発生恐れがあります。

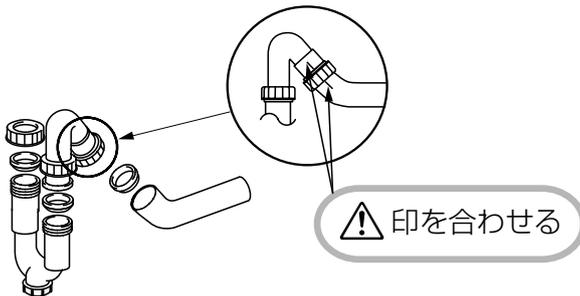


- 排水管に干渉するものがないか確認する。  
※干渉していると、接続部が外れ漏水を引き起こす恐れがあります。
- 排水トラップのナットの位置を化粧台の奥側に向ける。  
※収納物が配管に当たり漏水を引き起こす恐れがあります。
- 排水トラップは建築側排水管に接続する際、長さに余裕がある場合でもカットしない。  
※材料収縮により漏水の原因となる恐れがあります。



### 〈壁排水〉

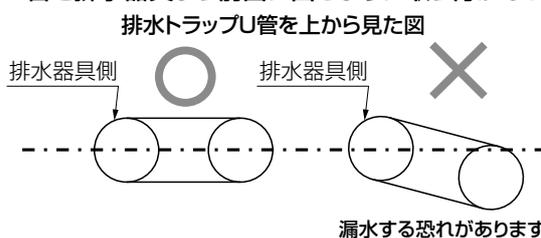
【排水アダプターは、市販品を現場調達ください】



### ⚠ 注意

取付けの際、排水トラップU管を排水器具より前面に出るように取り付けないこと。

※排水トラップU管を排水器具より前面に出るように取り付けした場合、引出しが干渉し閉まりきらない、トラップから漏水する恐れがあります。

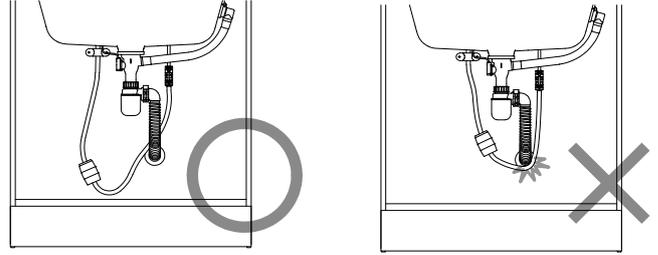


## ⑨ シャワーホースの接続

詳細は水栓金具付属の施工説明書をご覧ください。

### 【壁排水の場合】

シャワーホースは壁排水管の上側を通して施工してください。  
(排水管と干渉して漏水する恐れがあります。)

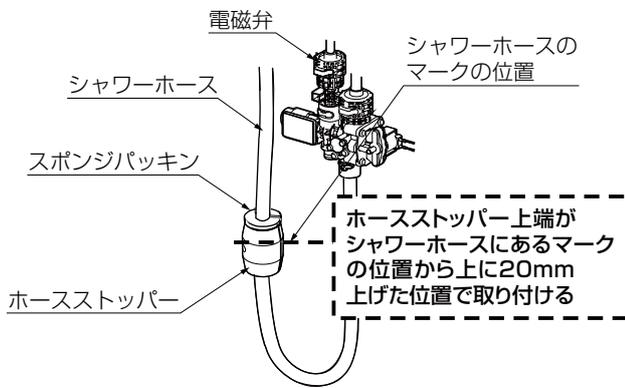


## ⑩ ストッパーの固定

詳細は水栓金具付属の施工説明書をご覧ください。

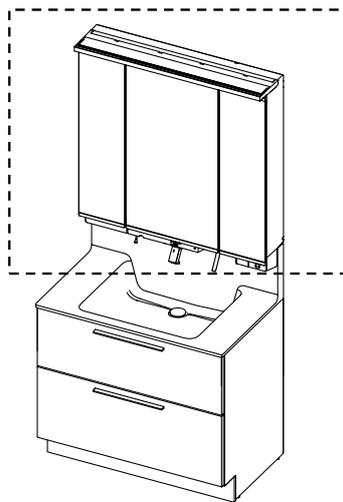
### <マルチトラップ (直管) の場合>

通常の取付位置(シャワーホースのマークの位置)より20mm上げた位置でホースストッパーを取り付けてください。



## ⑪ ミラーキャビネットの取付け

次の工程は、ミラーキャビネットに同梱の取付説明書をご覧ください。



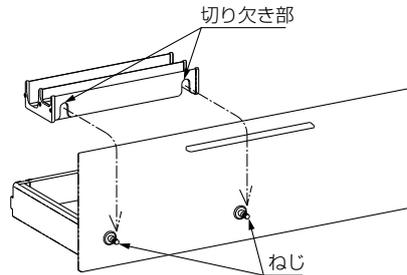
## ⑫ 水栓パネルの取付け

詳細はミラーキャビネット取付説明書をご覧ください。

## ⑬ スマートトレイ（ヘアアイロン用・小物用）の取付け

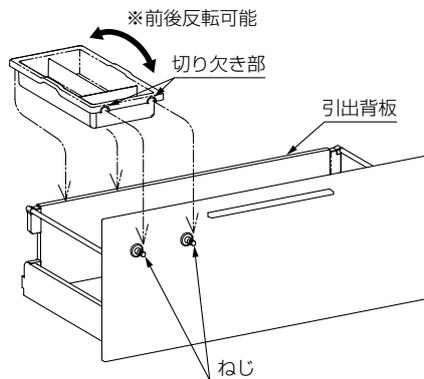
### ■ スマートトレイ（ヘアアイロン用）

上段引出しの前板裏のねじに、手前側の切り欠き部（2カ所）を引っ掛けて置く。



### ■ スマートトレイ（小物用）

下段引出しの前板裏のねじに、手前側の切り欠き部（2カ所）を引っ掛け、奥側を引出背板に乗せる。

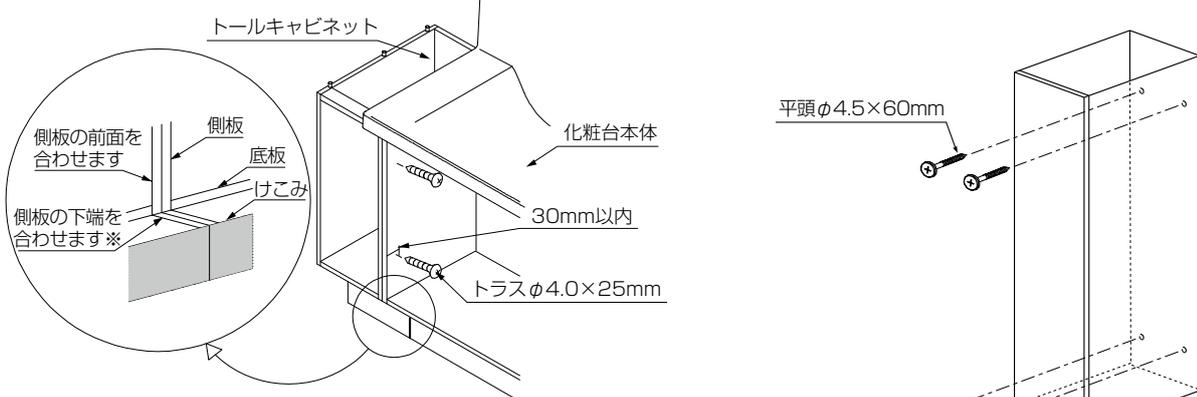


## 周辺キャビネットを取り付ける

### ① トールキャビネットの取付け

- (1) 下部キャビネットを化粧台の隣に仮設置する。
- (2) けこみの高さが合わない場合はトールキャビネット(下部)のアジャスターボルトで調整する。
- (3) キャビネット同士を連結用ねじで固定する。
- (4) 下部キャビネットを固定用ねじで壁に固定する。
- (5) 下部キャビネット上面のダボに上部キャビネットをはめ込む。
- (6) 上部キャビネットを固定用ねじで壁に固定する。

【間口250、300、450の場合】

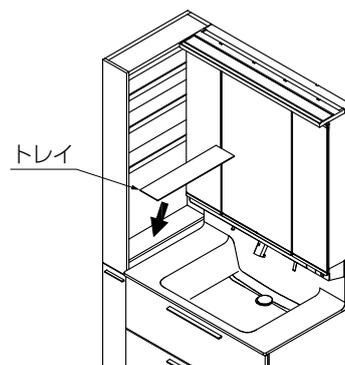


※隣り合う側板の上端には段差が生じる設計となっています。  
扉のチリは、後述の扉の取付け・取外し、チリ調整を参照してください。

### 【トールキャビネット オープンタイプの場合】

#### トレイの取付け

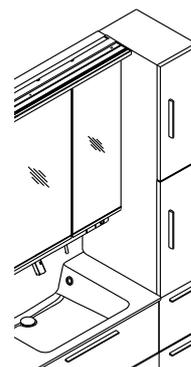
トレイの剥離紙をはがし、最下段の棚板に置く。



#### 【取っ手の取付け】

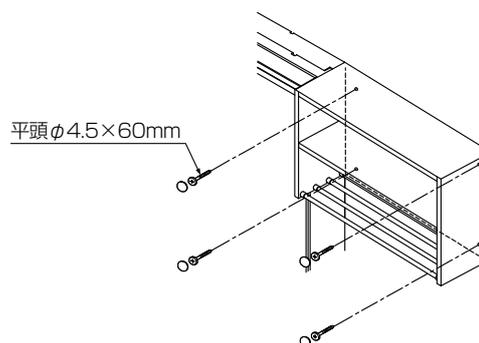
付属のねじ（低頭φ4×25mm）で扉の裏面から取っ手を固定します。

取っ手は平らな面が上側になるように取り付けてください。  
扉（縦向き）の場合は平らな面を化粧台側に向けてください。



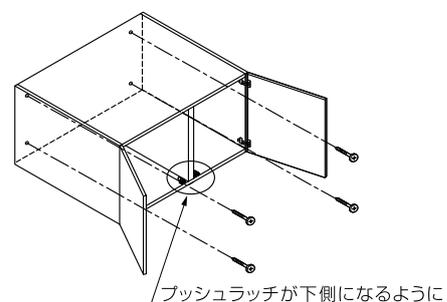
## ② ランドリーキャビネットの取付け

キャビネットの上端をミラーキャビネットまたはトールキャビネットの上端に合わせ、固定用ねじ（平頭φ4.5×60mm）で壁に取り付ける。固定後、化粧キャップを嵌める。

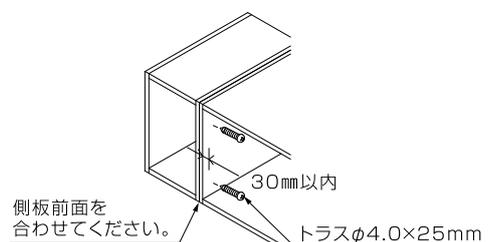


## ③ アッパーキャビネットの取付け

(1) ミラーキャビネットまたは周辺キャビネットの上に設置し、固定用ねじ(平頭φ4.5×60mm)で壁に固定する。

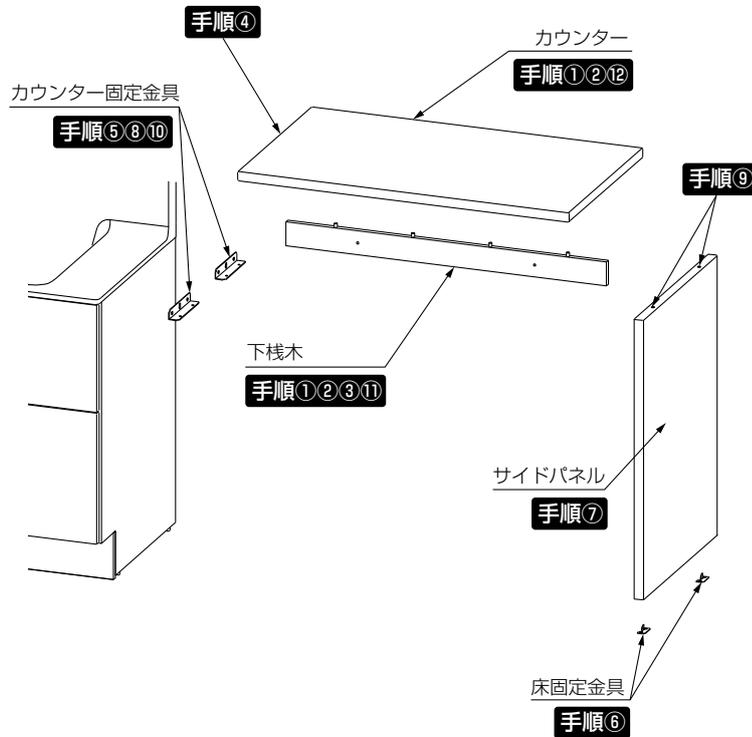


(2) 隣接するアッパーキャビネットがある場合は連結用ねじで固定する。





## ④ ランドリーカウンターの取付け



【手順①】 設置寸法の確認



【手順②】 カウンター長さのカット  
(必要がある場合のみ)



【手順③】 下棧木の取付け



【手順④】 スポンジテープの貼付け



【手順⑤】 カウンター固定金具の取付け  
(仮固定)



【手順⑥】 床固定金具の取付け



【手順⑦】 サイドパネルの設置



【手順⑧】 カウンター固定金具の取付け  
(本固定)



【手順⑨】 カウンターとサイドパネルを  
ジョイント金具で固定



【手順⑩】 カウンターの固定



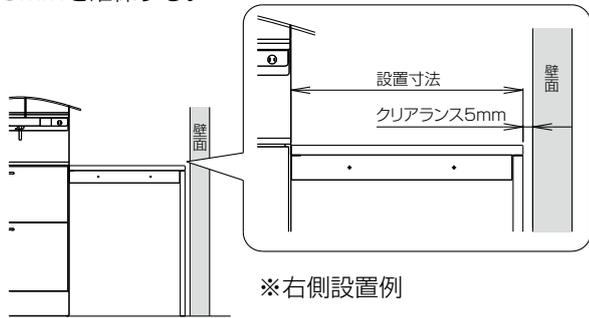
【手順⑪】 下棧木の壁固定



【手順⑫】 ランドリーカウンター周囲の  
シーリング

## ① 設置寸法の確認

承認図からカウンターを設置寸法を確認する。  
 ※カウンターと壁が接する場合は設置のためのクリアランス5mmを確保する。



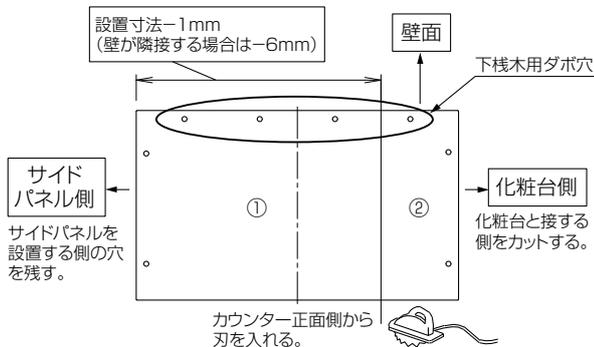
## ② カウンター長さのカット (必要がある場合のみ)

設置寸法を確認し、丸ノコでカウンターと下桟木をカットします。切断後の木口は面取り行つて。 ※最小設置寸法はW900は451mm、W450は250mmです。

### 【カウンター】

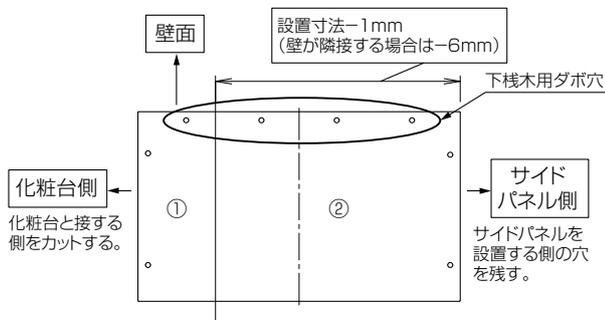
接続穴がある面を上に向け、下桟木用ダボ穴を奥側にする。  
 <右側設置の場合>

左側より設置寸法を取りカットして①を使用する。

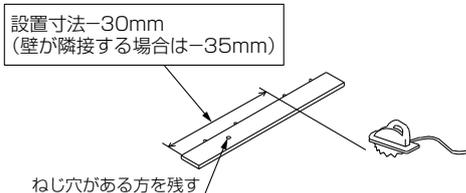


<左側設置の場合>

右側より設置寸法を取りカットして②を使用する。

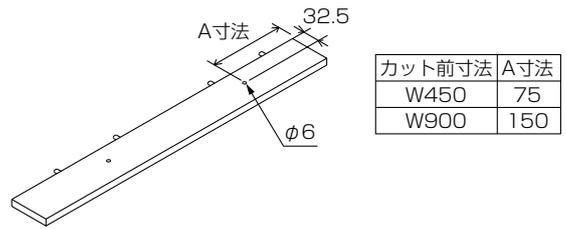


### 【下桟木】

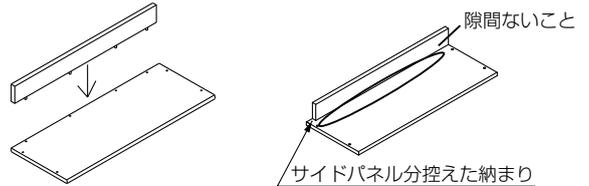


## ③ 下桟木の取付け

1. 下桟木に壁固定用穴を開ける。

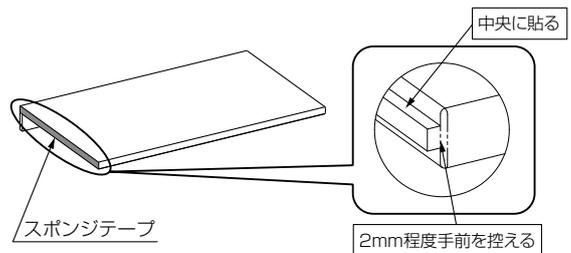


2. カウンター裏面の養生シートを剥がし、下桟木のダボをカウンターのダボ穴に合わせて取り付ける。



## ④ スポンジテープの貼付け

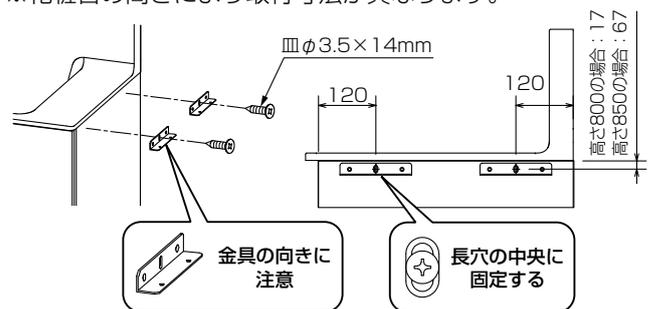
カウンターの化粧台と接する面にスポンジテープを貼る。



※シリコンシールのためのバックアップ材です。防水を目的としたものではありません。

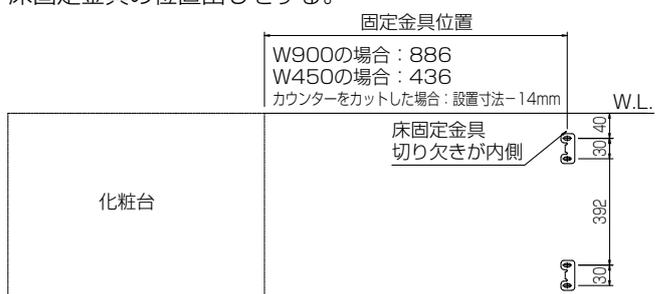
## ⑤ カウンター固定金具の取付け(仮固定)

カウンター固定金具を化粧台側面に取り付ける。  
 ※化粧台の高さにより取付寸法が異なります。

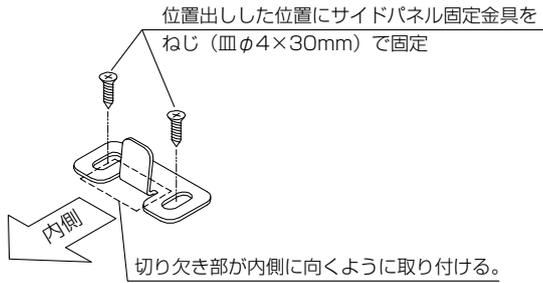


## ⑥ 床固定金具の取付け

床固定金具の位置出しをする。

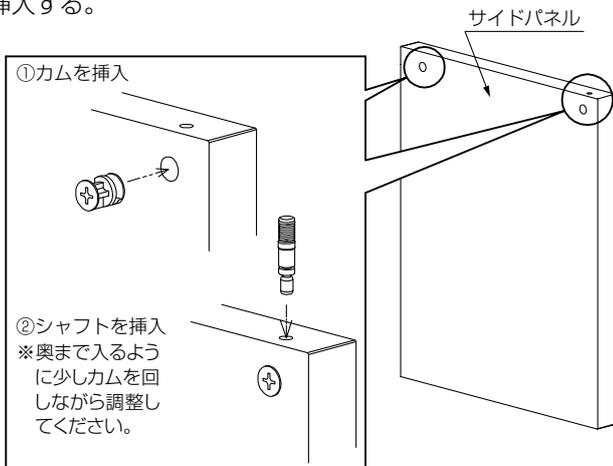


サイドパネル固定金具を床にねじ（皿φ4.0×30mm）で固定する

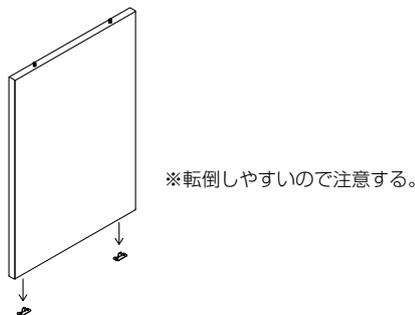


## ⑦ サイドパネルの設置

サイドパネル側面にカムを押し入れ、上面からシャフトを挿入する。

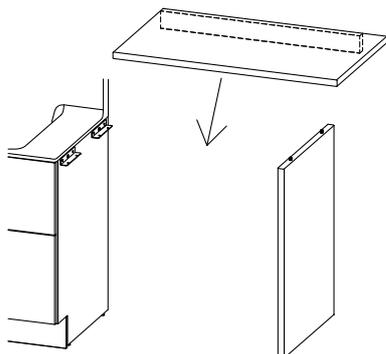


サイドパネル底面の穴に合わせて床固定金具の上にサイドパネルを仮設置する。

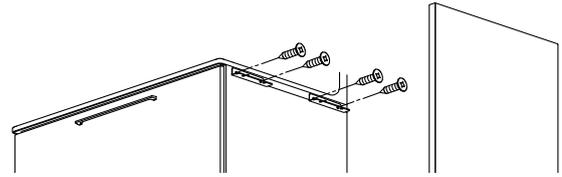


## ⑧ カウンター固定金具の取付け(本固定)

1. 固定金具とサイドパネルの上にカウンターを仮置きし、カウンターが水平になるように固定金具を調節する。

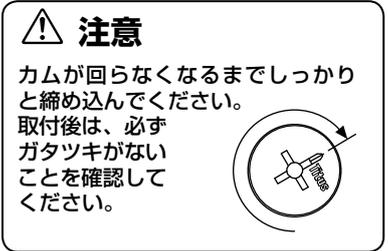
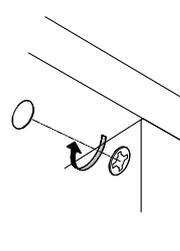


2. カウンターを取り除き、固定金具の高さを確認した後丸穴の箇所をねじ（皿φ3.5×14mm）で本固定する。



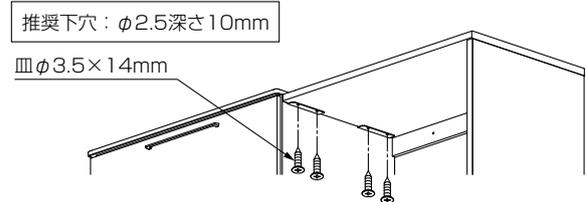
## ⑨ カウンターとサイドパネルをジョイント金具で固定する

カウンターを固定金具とサイドパネルの上に設置し、サイドパネルのカムを回して固定する。固定後に化粧キャップを嵌める。



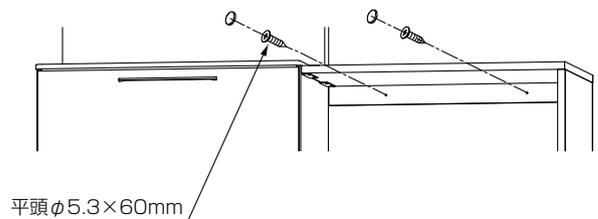
## ⑩ カウンターの固定

カウンター固定金具の下方からねじでカウンターを固定する。



## ⑪ 下桟木の壁固定

下桟木をねじで固定する。固定後に化粧キャップを嵌める。



## ⑫ ランドリーカウンター周囲のシーリング

詳細は▶25ページをご覧ください。

## シーリングと取付後の確認をする

### 洗面ボウル周囲のシール

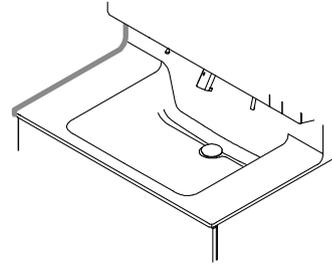
洗面ボウルと壁あるいは隣接キャビネットとの合わせ部をシリコン系シーリング材でシーリングします。

※ 洗面ボウルや壁剤に合わせてシーリング材の色を現場で選定してください。

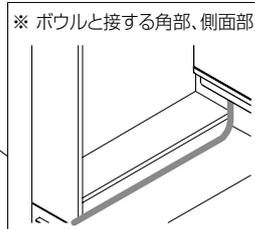
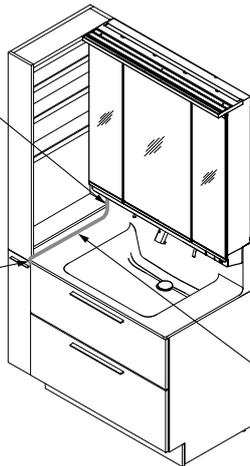
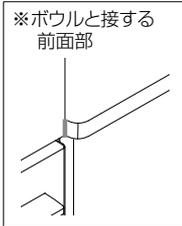
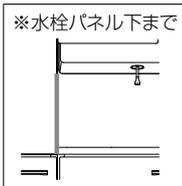
#### ⚠ 注意

必ずシーリングする。

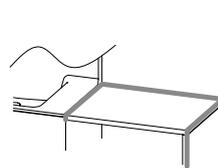
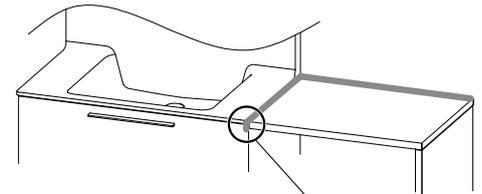
※ 合わせ部から水が浸入しキャビネットや壁・床を傷める場合があります。



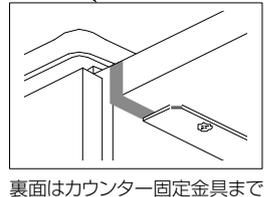
※ トールキャビネット（オープンランドリータイプ）はボウルと接する面をシーリングしてください。



ランドリーカウンターは化粧台とカウンターの間、壁とカウンターの間、壁とサイドパネルの間をシーリングする



側面に壁が隣接する場合は壁とカウンター・サイドパネルもシーリングする



裏面はカウンター固定金具まで

### 取付後の確認

- 固定用ねじが十分に締まっていること。
- ガタツキ・壁とキャビネットとの隙間がないこと。  
※ ガタツキや隙間がある場合は、ねじ位置を変えて取り付け直してください。
- 扉のチリがそろっていること。  
※ そろっていない場合は、「取付後の調節をする」(▶26 ページ)にて確認して調節してください。
- きれいに清掃する。  
※ 柔らかいぬれた布で拭き取ってください。
- 水栓金具の取付確認  
※ 水栓金具の施工説明書記載の「施工後の調節」や「引渡し前の確認」などをよく読み、取付確認をしてください。
- 漏水確認  
※ 排水栓を開け、水を一度に排出し、トラップ、排水管の各接続部から水漏れのないことを確認します。
- 吐水口の掃除  
※ 通水確認時に吐水口の掃除を実施してください。
- 排水栓の動作確認  
※ 排水器具のつまみを操作し、排水栓が上下に動くことを確認してください。

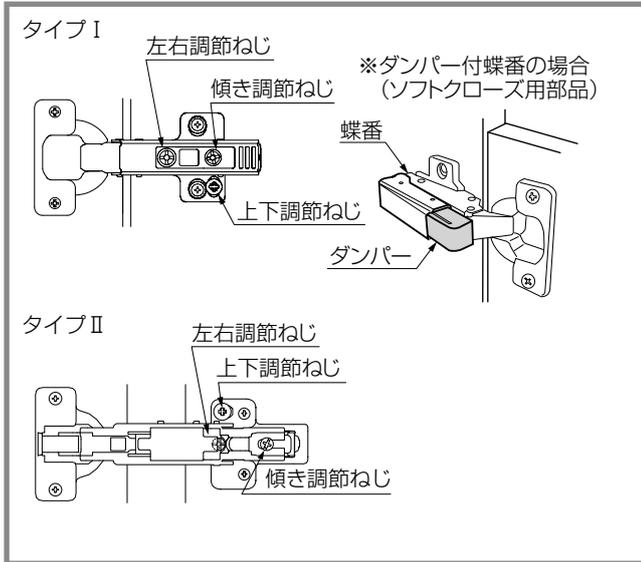
# 取付後の調節をする



扉調節方法動画はこちら→

## 扉の調節

蝶番の種類を確認し、調節してください。



### タイプ I ダンパー付蝶番の場合

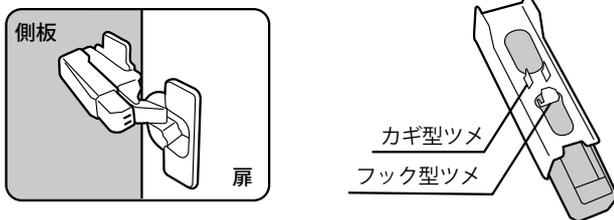
取付動画はこちらから→



ダンパー付蝶番はダンパーを取り外し、蝶番の調節を行います。

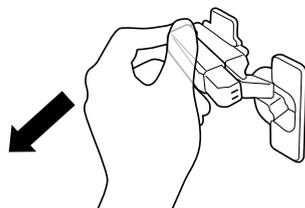
- 調節後は、同じ位置に取り付け直してください。
- 保護用手袋を着用してください。

【ダンパーが付いている状態】 【ダンパーの内側】



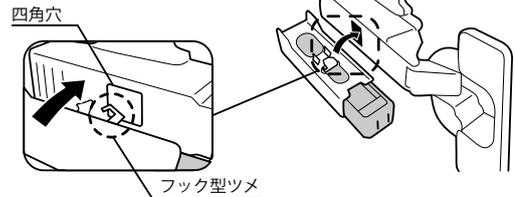
### ■ ダンパーを取り外すには

扉側へスライドさせるように引く。



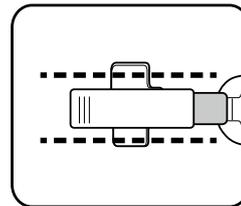
### ■ ダンパーを取り付けるには

- ①フック型ツメを蝶番の四角穴手前に当て、

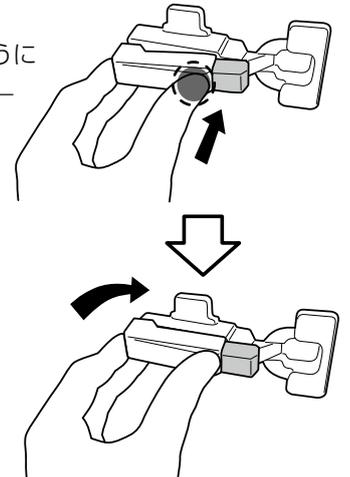


ダンパーを蝶番にまっすぐ合わせてのせる。

【真横から見た図】



- ②ダンパーがズレないように●の部分を押さえつつ、



奥側から「カチッ」と音がするまで押し込む。

## ■ 扉の調節

- 扉の調節は、蝶番のねじで行います。  
扉を取り外す必要はありません。
- 両開きの場合で片方の扉だけで調節できないときは、左右の扉を交互に調節してください。
- 調節は、必ず手回しドライバーを使用してください。

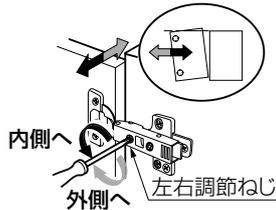
### ⚠ 注意

- 調節ねじ以外のねじを緩めたり、外したりしない。
- 調節後は、緩めたねじがしっかり締め付けられていることを確認する。  
※ 扉が落下してケガをする恐れがあります。

## タイプ I の場合

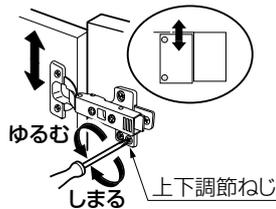
### 左右の調節 (±2mm)

左右調節ねじを回し、扉を調節する。



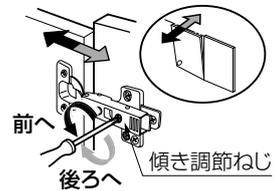
### 上下の調節 (±2mm)

- ① 上下調節ねじを軽く緩め、扉を動かして調節する。
- ② 上下調節ねじを締め直す。



### 前後傾きの調節 (前2mm、後1mm)

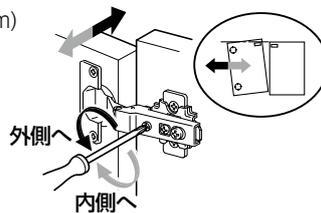
傾き調節ねじを回し、扉を調節する。



## タイプ II の場合

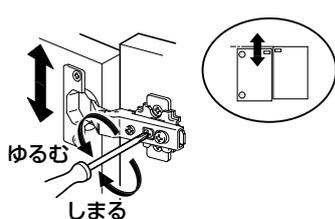
### 左右の調節 (内側4mm、外側1mm)

左右調節ねじを回し、扉を調節する。



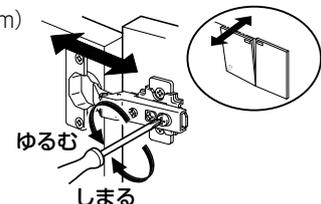
### 上下の調節 (±1.5mm)

- ① 上下調節ねじを軽く緩め、扉を動かして調節する。
- ② 上下調節ねじを締め直す。



### 前後傾きの調節 (前2mm、後1mm)

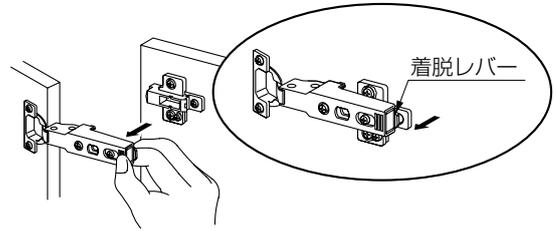
- ① 傾き調節ねじを軽く緩め、扉を動かして調節する。
- ② 傾き調節ねじを締め直す。



## 扉を取り外す / 取り付ける

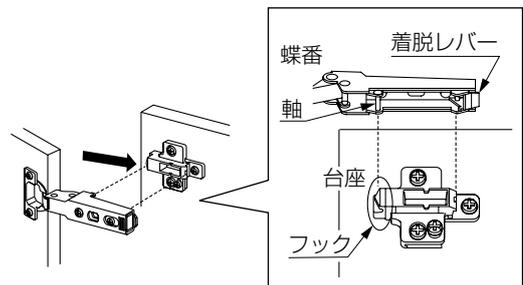
### ■ 取り外す

蝶番の着脱レバーを手前に引きながら取り外す。

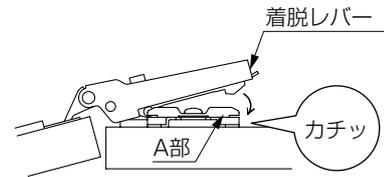


### ■ 取り付ける

蝶番の軸を台座のフックに矢印側から引っ掛ける。



着脱レバーをA部に合わせて「カチッ」と音がするまで押す。



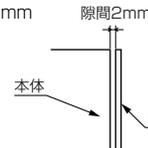
### ⚠ 注意

- 扉の取付後は蝶番が台座へしっかりはまっていることを確認する。  
※ 扉の外れや落下によりケガをする恐れがあります。

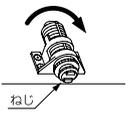
## プッシュラッチの調節

### アッパーキャビネットの場合

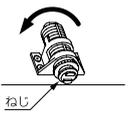
扉と本体の隙間を確認する。  
基準値：隙間2mm



- 扉の隙間が大きい場合  
プッシュラッチのねじを右に回す。



- 扉の隙間が小さい場合  
プッシュラッチのねじを左に回す。



# 引出しの取付け／取外し、チリ調節について

●取扱注意● 取っ手を持って、引出しを持ち上げない。＊取っ手が変形します。

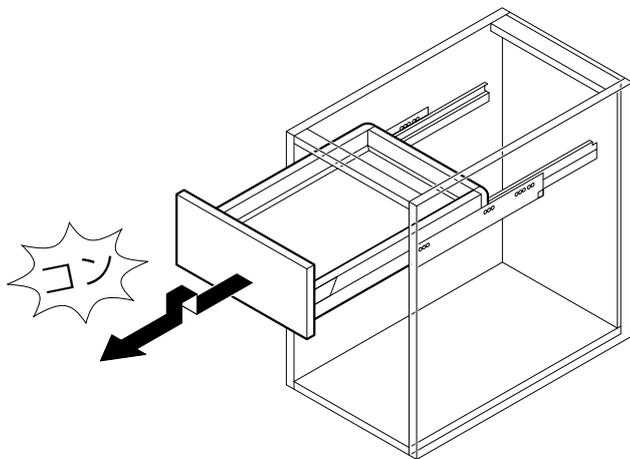
ベースキャビネット:フルスライドタイプ・スマートレイ付フルスライドタイプ  
ツールキャビネット:ランドリータイプ



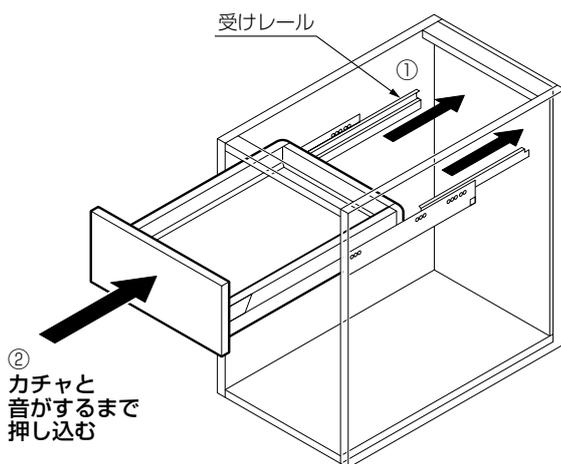
フルスライドタイプの調節方法動画はこちら→

## 引出しを取り外す

引出しを止まるところまで引き出し、一度少し上に持ち上げ（コンという音がしてロックが外れます）てから、さらに手前へ引き出します。



## 引出しを取り付ける



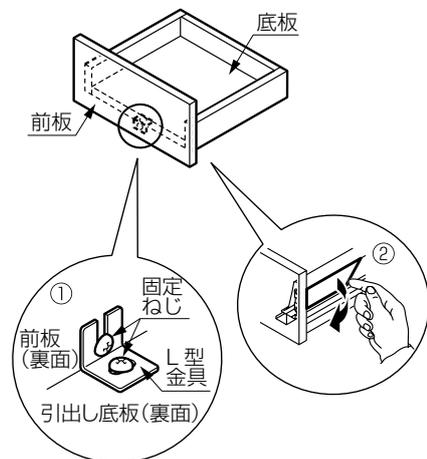
- ① 本体側の受けレールを奥まで押し込む。
- ② 引出しを受けレールに乗せ、奥まで押し込む。

カチャと音がしてロックされます。  
取り付け後は、数回引出しを開閉させ正確に取り付けられている（ガタツキ・異音がないか）ことを確認します。

## 前板を調節する

### ■ 調節前の準備

引出し前板裏面と引出し底板の間に、L型金具が取り付けられています。引出し調節（前板の傾き調節以外）を行う際は、必ず固定ねじを緩めて（金具が動く程度）から行ってください。また、調節完了後は必ず固定ねじを締め付け直してください。



- ① L型金具が動く程度に固定ねじを緩める。
- ② 引出し本体横の化粧カバーを取り外す。

### ■ 左右の調節をする

図のように、左右調節ねじを回して調節します。

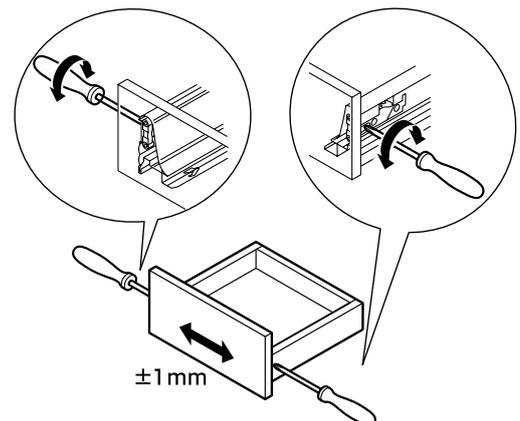
〈右へ移動する場合〉

右側ねじを右へ回し、左側ねじを左へ回す。

〈左へ移動する場合〉

右側ねじを左へ回し、左側ねじを右へ回す。

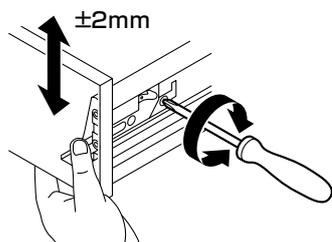
- ・調節は、引出し本体の左右共に行ってください。
- ・調節範囲：左右方向へ各1mm(計2mm)程度



## ■ 上下の調節をする

図のように、ねじを回して上下位置を調節します。

- 調節範囲：上下方向へ  
各2mm(計4mm)程度



## ■ 前板の傾きを調節する

(サイドギャラリー付き引出しのみ対応可能)

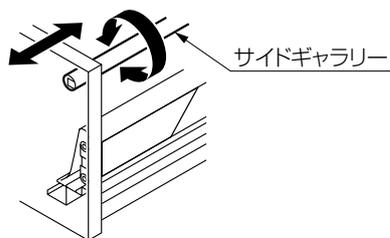
図のように、サイドギャラリー(パイプ部)を回し、前板の傾きを調節します。

〈前板を手前へ倒す場合〉

左へ(前板正面から見て)回す

〈前板を後方へ倒す場合〉

右へ(前板正面から見て)回す

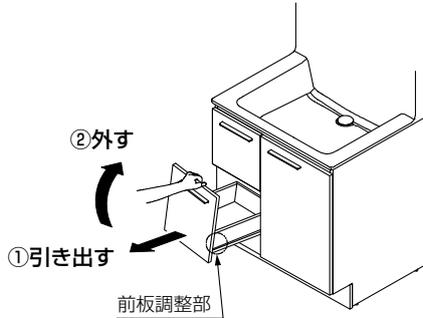


- サイドギャラリー後方の樹脂部品(グレー色)のねじ部に隙間が残りますが、この隙間は調節しろです。

# ベースキャビネット：引出タイプ ツールキャビネット：標準タイプ

## 引出しの取外し

- ① 引出しを最後まで引き出す。
- ② 引出しを持ち上げて外す。



## 引出しの取付け

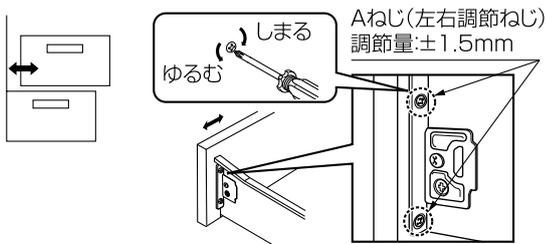
「取外し」と逆の手順で取り付ける。

## 前板の調節 〈左右方向の調節〉

引出し前板の調節方法動画はこちら→

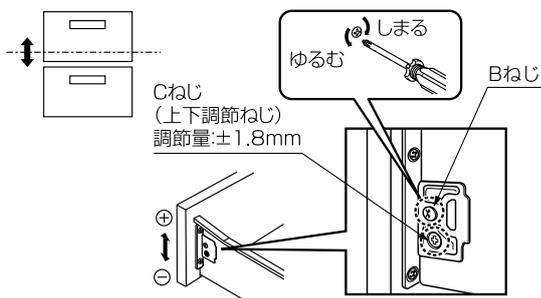


- ① Aねじを4カ所すべて緩める。
- ② 引出前板を左右に動かして調節する。
- ③ ①で緩めたAねじを固く締め付ける。



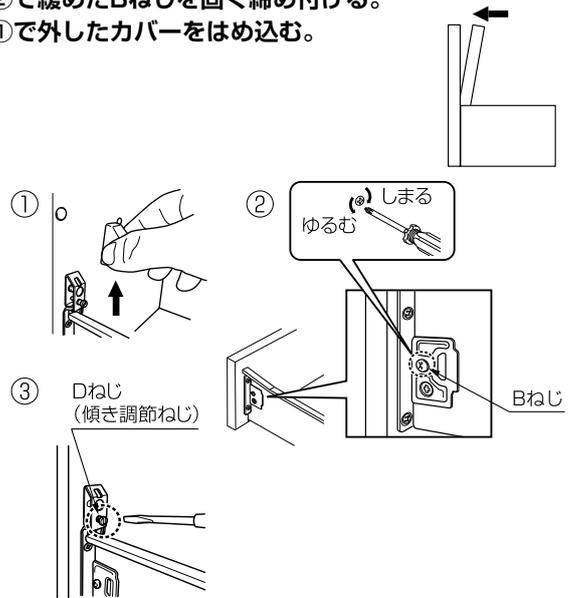
## 〈上下調節〉

- ① Bねじを緩める。(左へ回す)
- ② Cねじを回して調節する。  
上に動かす場合:ねじを右に回す  
下に動かす場合:ねじを左に回す
- ③ ①で緩めたBねじを固く締め付ける。



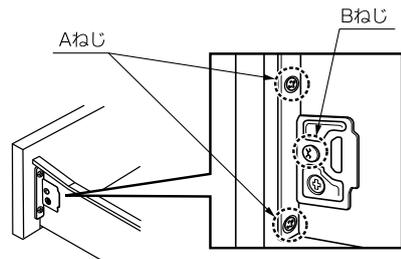
## 〈前板の傾き調節〉

- ① カバーを上引き抜いて外す。
- ② Bねじを緩める。(左へ回す)
- ③ Dねじを回して調節する。  
手前に倒す場合:ねじを右に回す  
後ろに倒す場合:ねじを左に回す
- ④ ②で緩めたBねじを固く締め付ける。
- ⑤ ①で外したカバーをはめ込む。



### ⚠ 注意

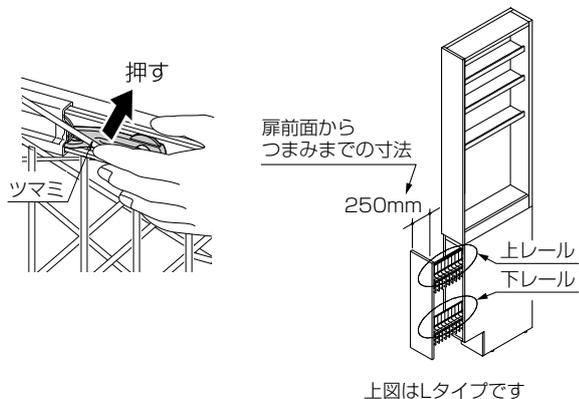
調節後、Aねじ・Bねじが固く締まっていることを確認する。  
※ ねじが緩んでいると、引出前板が外れて落下し、ケガをする恐れがあります。



# トールキャビネット（オープンスライドタイプ）

## 引出しの取外し

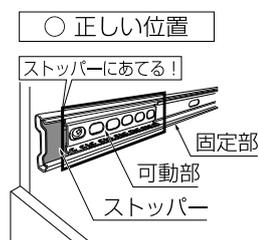
- ① 引出しを最後まで引き出す。
- ② 上下レールのつまみを押し、そのまま手前に引き出す。



## 引出しの取付け

- ① キャビネット本体側のレールを手前に引出し、引出し側のレールと合わせる。

※レール内部の可動部の位置に注意して取り付けてください。ずれた位置で取付けた場合、レールが破損し、動作不良の原因となる恐れがあります。



- ② 引出しを最後まで押し込む。

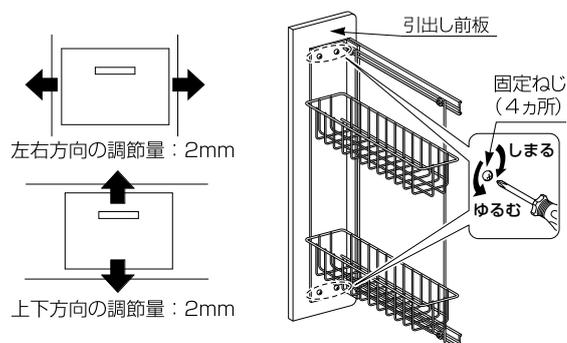
### ⚠ 注意

取付後は、数回開閉させ、正しく取り付けられていることを確認する。

※ 使用中に外れてケガをする恐れがあります。

## 前板の調節

- ① 前板の固定ねじを緩める。
- ② 引出しを前板を上下左右に動かして、正しい位置にする。
- ③ ①で緩めたねじを固く締め付ける。



# フレキホースを取り付ける際に参考にしてください。



## 注意



- 内側R120以下の曲げは絶対しない  
破損して、水漏れにより家財などをぬらす  
財産損害発生の恐れがあります。

下のイラストをフレキホースに当てることで、R120以上になっていることを確認できます。

